

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2009	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
Journal of Reproduction and Developmentの国際的な情報発信力を強化し、基幹ジャーナル化を目指す取組		公益社団法人 日本繁殖生物学会	理事長・束村 博子
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Reproduction and Development			JRD

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>Journal of Reproduction and Development 誌は掲載論文の国際性や海外での認知度が高いにも拘わらず、インパクトファクターは高くない、との認識に立ち、その引用度を高め、国際的な基幹ジャーナルにすることを最終目標とした取組である。5年後のインパクトファクター値を1.9-2.0にするという数値目標を掲げ、それを指標として、編集体制の国際化や引用されやすい総説記事の掲載、国際会議の開催などを計画通りに進めている。インパクトファクターは数値目標値には達していないものの、増加の傾向にあり、国際情報発信力は着実に上がっていると評価できる。</p>	